

## パラグアイ海外邦人安全対策情報

(令和4年7月～9月)

### 1 安全に関する情報

(1) 外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご留意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2: 不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタブア県エンカルナシオン市

:「レベル1: 十分注意してください。」(継続)

#### (2) 地域ごとの特に注意すべき点

ア. アスンシオン、シウダ・デル・エステ、エンカルナシオンなどの都市部を中心に、路上強盗被害が多発しており、多額の現金を所持している者を狙った犯行が多くみられます。

イ. パラグアイ北部(アマンバイ県、コンセプション県、サン・ペドロ県)では、反政府武装組織「パラグアイ人民軍(EPP)」の活動が確認されています。同組織は、過去に警察官、軍人、地元住民など数十件に及ぶ殺人事件に関与しており、2009年には上院議員、2020年には元副大統領など多数の誘拐事件を主導したと言われています。

ウ. また、北部のパラグアイ・ブラジル国境付近の地域では、ブラジルの麻薬密売組織「Primer Comando de la Capital (PCC)」が敵対する「Comando Vermelho」との間で抗争を続けており、度々銃撃戦に発展するなど地域の治安を脅かしています。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 全般

パラグアイ国内では、市街地でのオートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、ひったくり、置き引き、車上ねらい等が発生しています。携帯電話、スマートウォッチ、貴金属等の露出には十分に注意し、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外では携帯電話の使用は極力控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないよう基本的な防犯対策の徹底に心掛けてください。徒歩による移動は、犯罪被害に巻き込まれるリスクが高く、日中でも人通りが少ない道路や夜間は特に注意が必要です。

路線バスでは、乗客の手荷物を狙った強盗やスリが多く発生しています。タクシーや配車サービスなどを含む車での移動時においては、信号待ちの際に開いていた車の窓から所持品を盗まれる被害が多発しています。

また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。金融機関をご利用の際は、日時や場所を変え常に周囲の状況を確認するようにしてください。

万が一強盗被害に遭った場合は、犯人の要求に従い絶対に抵抗しないでください。

## (2) 主な事件概要

・7月8日深夜、アルト・パラナ県ロス・セドラレス市内の国道2号線で、携帯電話 180 箱を輸送中のトラックが、乗用車で接近してきた武装犯4人組に拳銃などで脅迫されトラックごと盗まれた。

・7月26日アルト・パラナ県ミンガ・グアス市内中心部にて、路上駐車していた車の窓ガラスが割られ、車内に置いてあった現金が入ったバッグが盗まれた。

・7月27日午後、アスンシオン市オブレロ地区の路上を通行中の男性が、何者かに凶器で刺され重傷を負い、その後男性は病院に運ばれるも死亡した。

・8月2日昼頃、アルト・パラナ県エステ市内にて、ホテルの事務所に2人組の武装犯が侵入し、多数の従業員を拳銃で脅し、多額の現金が強奪された。

・8月6日16時頃、ミシオネス県サン・ファン・パウティスタ市内の刑務所で、受刑者らが刑務官を凶器で脅迫し、受刑者34人が脱走した。

・8月10日、アルト・パラナ県エステ市の路上にて、卸業者の男性2名がオートバイで接近してきた武装犯2名に拳銃で脅迫され、多額の現金を強奪された。

・8月11日午後7時30分、アルト・パラナ県エステ市をオートバイで移動していた女性が、オートバイで接近してきた2人組の武装犯に拳銃で脅迫されてオートバイを盗まれた。近所に住む男性が女性の助けをを求める声を聞き犯人を取り押さえようとしたが、拳銃により射殺された。

・8月19日午後6時半頃、アスンシオン市オブレロ地区のサッカースタジアム付近で、熱狂的なファンが一部暴徒化し、警察官との間で衝突が発生した。

・8月27日、アスンシオン市コスタネーラ公園内のトイレで、二人組の男が男性を凶器で脅迫し、携帯電話などの所持品を強奪した。

・9月1日、イタプア県サン・ペドロ・デ・パラナ市の路上で、女性がオートバイで接近してきた武装犯1名に拳銃で脅され、財布と携帯電話を強奪された。

・9月3日午前0時半頃、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市にて、観光のため車で移動中だった外国人男性が、車で接近してきた警察官の格好をした武装犯に強引に停車させられ、犯人に拳銃で脅迫され別の場所に連れ去られた上、車と所持品を強奪された。

・9月6日午後1時頃、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市内のラジオ局前で、男性記者が、オートバイで接近してきた武装犯1名に射殺された。被害者は同年6月頃に「情報を知りすぎている」として、何者かから脅迫を受けていた。

・9月14日深夜に、イタプア県ピラポ市内の銀行の支店が武装した強盗犯に襲撃された。自動小銃、手榴弾などで武装した強盗犯8名程が銀行の建物を爆発物で破壊し、現金を強奪して逃走した。

### 3 誘拐・脅迫事件発生状況

・7月24日、イタプア県サン・ペドロ・デル・パラナ市にて、「パラグアイ愛国連合 (UPP:UNION DEL PUEBLO PARAGUAYO)」と称する犯罪組織によって少年が自宅から連れ去られる事件が発生した。警察が被害者を乗せてオートバイで移動していた15歳の少年を逮捕し、被害者の少年は保護された。